

2023年度第4回産業医部会幹事会議事録

○開催日時：2024(R6)年2月12日（日）9：00～12：40

○開催方法：Web会議（ZOOM）

○出欠状況一覧(敬称略)：

- ・出席：北海道(羽賀、原)、東北(各務、菅原)、関東(大橋、加藤、谷山、福本、宮本)、北陸・甲信越(塚原、西澤)、東海(石川、西)、近畿(岩根、深井、森口)、中国(真鍋、塩田)、四国(杉原)、九州(小田原、黒崎)、
専門医制度担当理事(大神)、担当理事(西田)、監事(深澤)、
- ・欠席：遠田、斎藤、池上、

0. 部会長挨拶

- ・会の開始に先立ち、宮本部会長から、本日の審議内容等に関して挨拶がなされた。

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認【資料1】 石川

- ・議事録の確認の流れの説明があり、修正事項があれば1週間以内に連絡して頂きたい旨と、それを受けて確定とする流れについて報告された。

②2024年度事業計画案、重点活動項目について【資料2】 石川

- ・資料に沿って、事業計画案の説明がなされた。
- ・Pコースについて、ライブは困難であることからオンデマンド中心で進む方向性であり「オンライン」はライブとオンデマンドいずれも含む意味と確認した。

③2023年度の予算消化状況について【資料3】 加藤

- ・資料に沿って12月時点での予算消化状況について説明があり、前年と同等であることが補足された。

④2024年度予算案について【資料4】 加藤

- ・資料に沿って予算案の概要について説明があり、前年度と大きく異なる内容として、OHAS後の新しい研修会用の予算を計上していることが補足された。
- ・その他は前年度の内容を踏襲した形であると説明があった。

⑤専門医制度（社会医学系、日本産業衛生学会）について 大神

- ・来年度も現地で8月に実施予定であると報告があった。
- ・日本産業衛生学会専門医制度についての課題についての議論の報告があった。その対策としてのWG立ち上げについて説明があり、産業医部会からのWGメンバーの選出の依頼とWGで議論すべき課題等々について意見交換がなされた。

⑥化学物質の自主管理について 宮本

- ・『20231009RA結果に基づき健康診断の要否を考える際の指針（冒頭）.pdf』、『20231009産業医部会提供分（宮本俊明）.pdf』について、ピュアレビューがなされ、修正予定であると報告

があった。

⑦OHAS 終了後の研修会について 宮本

- ・宮本部部长より、現状の P コースが指導医を目指すレベルであることに対して、ポスト OHAS は専門医を目指すレベルであることが確認された。
- ・OHAS と全く同じ事を引き継ぐのは無理であるが、研修コンテンツ、ディスカッションの場、懇親の場の提供などの可能性について提案があり、複数の幹事から賛同が得られた。
- ・運営については、真鍋幹事より、指導医レベルでなく、資格取得後の専門医が望まれると意見があり、深井幹事より、OHAS での実行委員経験者が、運営していくことが現実的であること、森口副部長より、統括の役割などでは指導医レベルの関与も一定数は必要であることなどの意見が出され、複数の幹事から賛同があった。
- ・宮本部部长より、深井幹事に今後コアメンバーとしての委任があり、承諾された。

⑧産業医部会報について（編集委員会）【資料5】 原

- ・資料に沿って、発行・編集作業等の現状報告がなされた。執筆者への依頼について、地方会担当幹事への協力要請があった。

⑨プロフェッショナルコースについて 加藤

- ・1/27～28 に開催され、現地参加 30 名、Web 参加 42 名と過去最大の参加者で、現地参加者アンケートでは満足度平均 4.96 点（5 点満点）と盛會に終わったと報告があった。
- ・出席した各幹事より、企画が良く考えられておりレベルが高かった、産業医大卒業生以外も懇親の場に多く参加できていたこと、などの感想があった。
- ・（2/8～）3/9 までオンデマンド配信中であると報告があり、複数の幹事から、今後は現状の募集期間より長く募集することを期待する意見があり、検討課題とすることとなった。

⑩ポスター発表優秀賞について 西澤

- ・第 33 回協議会での受賞演題についての報告があった。反省点として、非部会員が最終選考の候補に挙がってしまっていたこと、現状は諸事情で現地ポスターを確認せずに選考していることなどがあがった。
- ・各選考委員から、選考方法は現状の抄録確認を中心とする方法の継続でよいと意見があった。

⑪学会ホームページの活用、学会のメルマガについて 黒崎

- ・ポスター発表優秀賞の歴代受賞者一覧について、HP へ掲載の提案があり、追跡可能な 2014 年以後について掲載とする方針となった。
- ・部会企画の掲載は、西幹事に権限付与しているため、部会関連記事の案内などを積極的に掲載していく方針となった。
- ・メルマガは、今後 3 月、6 月に発信予定であり、5 月の学会関連行事の案内は 3 月号での発信を推奨された。

⑫第 97 回学会（広島）部会長賞選考方法について 宮本・遠田

- ・画面を提示しながら、真鍋幹事（企画運営委委員長の立場）より、部会長表彰の実施について要請があり、今回も実施することとなった。表彰は従来通り懇親会で開催予定と確認があった。

- ・西澤幹事（前年とりまとめ役の立場）から選考基準を決めておくことが提案され、今後、遠田幹事を中心に進めていくことになった。
- ・森口副部長より本件は企画運営委員長裁量案件であるが、今後学会本部も関与していく方向性について補足があった。
- ・その他補足として、学会での表彰対象について、名誉会員、学会賞、奨励賞、功労賞、若手論文賞、優秀査読者賞、ベストGP賞（GP奨励賞）を総会で表彰していることが共有された。

⑬第 97 回学会（広島）医部会フォーラムについて【資料 6】 真鍋・塩田

⑭第 97 回学会（広島）医部会シンポジウムについて 宮本

資料に沿って、部会フォーラム、シンポジウムの準備状況の報告があった。

⑮第 34 回全国協議会（木更津）自由集会、部会シンポジウム（仮）について 宮本・谷山

- ・現状、自由集会枠、シンポジウム枠の 2 枠を準備しているが、自由集会 1 枠での準備とすることが確認された。
- ・4 部会シンポジウムについて、若手の演者に依頼する方針であると報告があった。

⑯産業保健専門職の倫理指針を検討する WG 森口・西澤

- ・WG で仮作成された指針（当日資料）が提示され、各幹事へ今後意見の提出の要請があった。

⑰部会員名簿使用・管理について（本部・部会）【資料 7】 宮本・石川

- ・資料に沿って、学会本部としての規定の確認があり、部会員からの名簿利用の要請時は、部会長の裁量で可否を決定し、氏名と住所ラベルの提供のみ（電子データは不可）との確認があった。
- ・産業医部会幹事への名簿提供に関する規約について、電子会議室の利用へ変更になったことに伴い、現状に沿った内容へ修正し、2023 年 11 月に規約が改定となったことが確認された。

⑱部会員増と幹事の人数について【資料 8】 宮本・森口

- ・産業医部会幹事数の再検討資料を画面提示しながら産業医部会幹事数の増員について意見交換がなされ、関東地方会は+2 名、近畿地方会は+1 名を具体的に検討するよう宮本部長より提案がなされた。
- ・専門医制度担当理事(大神)を幹事に加える案について意見交換がなされ、理事長推薦枠とするか地方会長推薦枠とするかについて確認がなされ、九州地方会長推薦枠で調整を進める事となった。
- ・部会員・幹事数増員に伴う監事数の増員（1 名→2 名）についても意見交換がなされ、過去の経緯として監事の要件を幹事以外から選出する方針となった事が確認された。
- ・会計担当幹事との連携が必要であることから、今後、関西圏から 1 名を選任する方針となった。

⑲役割分担表について・会計担当について【資料 9】 宮本・深井

- ・資料を提示しながら、2024 年度以後は深井幹事が会計実務の主担当となる事が報告された。

⑳次回幹事会の日程と広島での幹事会の持ち方について 石川

- ・次回幹事会の日程に関して、春の学会中の幹事会はランチミーティングとする方針であることを確認し、事前の 5 月 12 日(日) 9:00~12:00 に Web 開催とすることとなった。

2. 報告事項

①第 33 回全国協議会（甲府）開催報告 塚原・西澤

・塚原幹事より口頭で開催概要（参加者数、オンデマンド配信期間、収支状況）の報告がなされた。

②第 34 回全国協議会（木更津）準備報告 宮本

・宮本部部长より口頭で開催準備状況（学会 Hp 公開、プログラム検討状況、予算検討状況等々）の報告がなされた。

③第 35 回全国協議会について 斎藤・杉原

・杉原幹事より口頭で開催準備状況（学会会場、開催方法、会期日程、事務局体制、予算検討状況等々）の報告がなされた。

④第 97 回学会（広島）の準備報告 真鍋・塩田

・真鍋幹事より①日医単位の参加状況確認および交付方法についての DX 化をトライする事、②プログラム検討状況、会場使用計画状況等々について報告がなされた。

⑤第 98 回学会（仙台）の準備報告 菅原・各務

・菅原幹事より口頭で開催準備状況（学会会場、開催方法、会期日程、事務局体制、予算検討状況等々）の報告がなされた。

⑥第 99 回学会について（近畿）

・森口幹事、西田幹事より口頭で開催準備状況（学会会場、会期日程）の報告がなされた。

⑦報告各種委員会報告（生涯教育、政策法制度、学術、広報、ダイバーシティ他）担当幹事

- ・宮本部部长から口頭で生涯教育委員会での GP 賞の選考状況についての報告がなされた。
- ・森口幹事より政策法制度委員会での提言事項についての報告がなされた。
- ・森口幹事より学術委員会での学会での倫理的承認の手続きについての議論、第 97 回では教育講演を企画している事についての報告がなされた。
- ・黒崎幹事より広報委員会についての活動の現状の報告がなされた。
- ・西幹事より、各種委員会企画・イベントの報告・今後の企画案などの案内がなされた。
- ・大橋幹事よりダイバーシティ委員会が実施中のアンケート調査協力への依頼がなされた。

⑧各担当幹事報告 各幹事

・報告事項なし

⑨理事会報告【資料 10】 西田

・西田幹事より資料をもとに理事会での検討内容等々についての報告がなされた。

⑩四部会長会議報告 宮本

・宮本部部长より 4 部会長会議における議事について口頭で報告がなされた。

⑪各地方会活動報告 各幹事

- ・全地方会活動について、各担当幹事から口頭で其々の活動状況について報告された。

⑫インボイス関連 宮本

- ・宮本部会長より口頭でインボイス対応について確認と依頼がなされた。

⑬その他

- ・森口副会長から杉原幹事に日本産業ストレス学会(2025/11/28~/29)と第 35 回全国協議会(2025/11/27~/29)との日程が重なっている旨の確認がなされた、日本産業ストレス学会理事長の堤先生や大会長の江口先生に再確認する必要がある事の共有がなされ、宮本部会長から連絡を入れることとなった。

以上